

- ▶ 大牟田市では不在地主の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組みを進め、森林整備を推進する方針。
- ▶ 令和3年度において、以下の取組みを民間事業者へ委託を行った。
 - 「大牟田市森林経営意向調査実施計画書」に基づき、優先度の高い森林所有者への意向調査を行った。
 - 大牟田市の地域森林計画対象森林1,762haの航空レーザ測量を行った。
- ▶ 次年度以降は計画に沿った森林境界明確化及び意向調査を行う。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- 令和2年度に策定した「大牟田市森林経営意向調査実施計画書」に基づき、16名（面積：2.78ha、26筆）の所有者を対象に森林の管理状況や今後の管理方針等について意向調査を実施した。

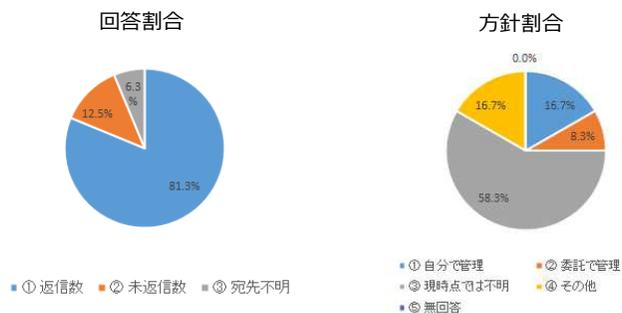
2 航空レーザ測量の実施

- 市内の対象森林で森林の資源情報の整備及び境界明確化を目的とした航空レーザ測量を実施した。

【事業費】 8,745千円（全額譲与税）

【実績】 意向調査：2.49ha、13名の回答（81.3%）

航空レーザ測量：1,762ha



□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査及び航空レーザ測量の実施



□ 工夫・留意した点

- 今後災害対策における森林の在り方や、森林境界明確化など、本市の森林施策に活かせるデータ作成は、地域森林計画対象森林全体とし、国土調査完了地区、災害危険地区、市有林の割合等をもとに森林境界明確化及び意向調査の年次計画の見直しを行った。

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,927千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 令和3年度に日本初『動物園内にある絵本美術館』がオープンし、多くの来園者に木の暖かみ、温もりを感じられる機会の提供を行うため、木製備品を導入した。
- ▶ 令和4年度以降も公共施設での木製備品導入を推進する。

事業内容

1 公共施設の木製備品導入事業

- 令和3年10月1日に大牟田市動物園内にオープンした『ともだちや絵本美術館』において木製備品等を導入。

【事業費】 1,000千円（全額譲与税）

- 【実績】
- 案内サイン：3基
 - 誘導サイン自立型：1基
 - 誘導サイン取付型：3基
 - 寄附者プレート大：5基
 - 寄附者プレート小：2基
 - 風景の舞台：1基
 - 木製棚：1台



↑ 寄附者プレート ↓ 案内サイン



↑ 誘導サイン ↓ 風景の舞台



事業スキーム

- 絵本美術館空間演出に関する木製備品等調達



工夫・留意した点

- 絵本の世界に合わせた木の温もりをもたらす「空間演出」に必要な備品の調達を行うため、専門的知識を持った業者の選定を行った。

基礎データ

①令和3年度譲与額	9,927千円
②私有林人工林面積（※1）	211ha
③林野率（※2）	23.1%
④人口（※3）	111,281人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1,2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より

